



花開く活力、
広がる笑顔、
政令市新潟



H28.4.23~24
G7新潟農業大臣会合開催！

国家戦略特区の取組み
をPR

資料1

新潟市革新的農業実践特区

～農業を核に地方創生のトツプランナーに～

平成29年4月5日

新潟市
City of NIIGATA

規制緩和を活用した取り組み～(株)ローソンファーム新潟～

LAWSON

全国初の特例農業法人



・「ローソンファーム新潟のコシヒカリおにぎりセット」(税込360円)
⇒**関東・甲信越エリアのローソン4,373店舗**で販売

・「新潟県産こしひかり 2kg」(税込950円)
⇒**全国のローソンストア100,799店舗**にて発売

規制緩和を活用した取り組み～（株）新潟クボタ～

Kubota

耕作放棄地で小麦を栽培



- ・平成28年度は5.4haの水田にて輸出用米、3.5haの畑地にて小麦を栽培
 - ・クボタの最新鋭のICT技術を活用し、生産コストの削減
 - ・**香港、シンガポール、モンゴルなど海外に向けた米輸出を開始**
- ⇒ 玄米輸出・現地精米の手法により、鮮度の保持と日本米本来の味を現地で再現

規制緩和を活用した取り組み～(株)JR新潟ファーム～



「食に係る地域活性化連携協定」締結



- ・ (株)JR新潟ファームで生産した酒米「五百万石」を使用した、地域連携プロジェクトによる日本酒「新潟しゅぽっぽ」を販売
- ・ JA全農にいがたと連携し、首都圏駅ナカ飲食店舗で、「朝採り枝豆」を販売

規制緩和を活用した取り組み～特例農業法人～

■新潟麦酒(株)/(株)ビアファーム

- ・平成27年11月26日 特例農業法人に移行
- ・西蒲区にて牧草を栽培。また養豚業にて生産された豚肉を加工し、地ビールに合うソーセージ等の製造を行っている。
- ・平成28年8月に農地取得 (5a)



■(株)W P P C / (株)グリーングリーン

- ・平成27年11月26日 特例農業法人に移行
- ・秋葉区の耕作放棄地を利用し、苔の生産を行う。市内産花卉と自社の苔を利用した盆栽 (MASS MOSS) を製造し、首都圏やインバウンド客をはじめ、海外への販路拡大に取り組んでいる。



■(株)セブンファーム新潟 / (株)セブンファーム新潟市

- ・平成27年8月27日 特例農業法人に移行
- ・江南区の若手農業者と連携し、ダイコン・カブの栽培を開始。店舗から排出される残渣を活用したリサイクル農業を行い、生産物は県内のイトーヨーカドーへ出荷している。



規制緩和を活用した取り組み～特例農業法人～

■ (株)ars-dining / (株)ars-dining

- ・平成27年7月31日 特例農業法人に移行
- ・露地野菜を栽培。自社の生産した農産物を経営する居酒屋で提供する6次産業化を展開。役員要件の緩和により、6次産業化に取り組む役員が居酒屋経営に専念することが可能となった。



■ (株)アイエスネットライフ新潟 / (株)たくみファーム

- ・平成27年8月27日 特例農業法人に移行
- ・西蒲区にて**障がい者を雇用**し、トマトのハウス栽培やイチジクの栽培を行う。自社で生産したミニトマト「天使の唇」は野菜ソムリエサミット 2016年7月にて金賞を受賞した。
- ・平成28年度に**グローバルGAPを取得**。



■ (株)ひらせいホームセンター / (株)ひらせいファーム

- ・平成28年2月22日 特例農業法人に移行
- ・市内農業者と連携し、もみ殻堆肥を施用した露地野菜や野菜苗、伝統野菜等を栽培する資源循環型の農業を進めている。生産物はホームセンターやインターネットにて販売。



規制緩和を活用した取り組み～農家レストラン～

■ (有)フジタファーム

- ・ H28.3.18 **全国初**の農家レストラン「ラ・ビステッカ」オープン
- ・ 県内産の上質な牛肉を使用したステーキや、自社の牛乳を使用したアイス等を提供



■ (有)ワイエスアグリプラント

- ・ H28.5.20「トネリコ」オープン
- ・ 自社で生産した農産物を使ったピザや、イチゴ（越後姫）を使ったスイーツを提供
- ・ マルシェやデリカを併設



■ (有)高儀農場

- ・ H28.5.14オープン
- ・ 自社で生産したフルーツトマトを使ったパスタやイチゴ（越後姫）を使ったデザートを提供
- ・ 施設には県産杉を利用



ウッドデザイン賞2016(建築・空間分野)を受賞

オープン以降、3農家レストランの**集客は7万人**以上(H28.12月末現在)
3農家レストランの**雇用は正規、臨時で20人**以上(H28.12月末現在)

農村地域の雇用増、交流人口の拡大！

国家戦略特区～規制緩和を伴わないアグリプロジェクト～



新潟の農産物の普及促進など
による地域経済の活性化を図る
「地域活性化包括連携協定」



高付加価値・低コスト
な植物工場の実証



ゲノム解析とマーケティングの
融合による「農産物高付加価値化プ
ロジェクト」



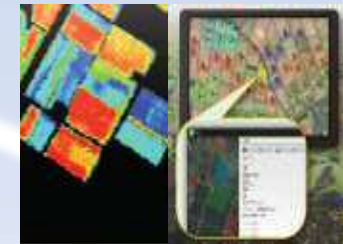
長距離無線通信を活用した
圃場センシングソリューション



圃場から収集した環境情報や
生育情報を独自のekレシピと融合し、
栽培指導に効果的に活用



人工衛星による画像分析技術
を用いた営農支援ツールの活用



水田センサと連動したクラウド型水田管理システムの
導入により、圃場管理の効率化等を図る
「革新的稲作営農管理システム実証プロジェクト」

規制改革と合わせ革新的農業を推進！

国家戦略特区～規制緩和を伴わないアグリプロジェクト～

◎ 革新的稲作営農管理システム実証プロジェクト評価

プロジェクト概要

総務省「ICT地域活性化大賞2016」

優秀賞

- ・H27年5月にNTTドコモ、ベジタリア、ウォーターセル、新潟市で連携協定を締結。
- ・水田の見回りに掛かる労力の負担軽減に向けて、水田センサ（ICT）を導入し、農業者とともに大規模実証を開始。
- ・H28年は昨年度のモニターから4名を選抜し、労力削減効果について定量的評価を実施。

評価結果

田んぼの見回り	労力削減率(最大)	労力削減率(平均)
実施回数(回)	▲67%	▲35%
延べ人員(人)	▲66%	▲27%
移動距離(km)	▲76%	▲33%
確認時間(h)	▲76%	▲43%



- ・水管理(田んぼの見回り)の省力化を実現！
- ・機能・価格を見直し、H29年度に次世代センサを市場投入(予定)

国家戦略特区～規制緩和を伴わないアグリプロジェクト～

◎新潟市ドローンプロジェクト始動！！

H28.9.21～

プロジェクト概要

基幹作物であるコメの品質向上や、海岸保安林の維持管理に向けて、革新的技術を有する民間事業者でプロジェクトチームを編成し、ドローンを活用した実証試験を行う。



ドローンによる植生分析を実施し、いもち病の発生予察や収穫適期の予測

コメの品質向上



空撮による松くい虫の被害木調査など

効果的な松枯れ対策

【連携事業者】

NTT docomo

vegetalia

ACSL

AeroSense (SONYグループ)

相次ぐ要人による特区視察

【石破茂内閣府特命担当大臣】

視察日：平成28年5月22日

参加者：

石破 茂

(内閣府特命担当大臣 (地方創生))

石崎 徹 (衆議院議員)

玉塚 元一 ((株)ローソン代表取締役社長)

加藤 薫 ((株)NTTドコモ代表取締役社長)



農家レストラン「ラ・トラットリア・エストルト」や
水田センサを設置した圃場を視察

コメント：

**新しい日本の農業の姿は、
新潟が着実と実践しつつある**

**新潟が農業分野で
日本の最先端を走っている**

【キャロライン・ケネディ駐日米国大使】

視察日：平成28年6月27日

参加者：

キャロライン・ケネディ (駐日米国大使)

後藤 竜佑

((株)ローソンファーム新潟代表取締役社長)



南区「アグリパーク」の視察や
㈱ローソンファーム新潟社長と意見交換

コメント：

**若者世代を奨励して農業に
関心を持たせるための
皆様方の取組みにとりわけ
感動を受けました**

【鶴保庸介内閣府特命担当大臣】

視察日：平成29年2月25日

参加者：

鶴保 庸介 (内閣府特命担当大臣 (沖縄及び
北方対策、クールジャパン戦略、知的財産戦略、
科学技術政策、宇宙政策))

金子 恵美 (衆議院議員)

寺崎 明 ((株)NTTドコモ代表取締役副社長)



農家レストラン「トネリコ」や
新潟市マンガ・アニメ情報館を視察

コメント：

**新潟には、農業IT・マンガ
といった分野で突出した
ものが集積しており、
可能性が高い**